

大台町商工会

大台町内 地域経済動向調査結果レポート

1. 調査概要

- 調査対象：町内全小規模事業者
- 調査方法：調査票によるアンケート形式
- 回答数：35件
- 回答者の業種内訳

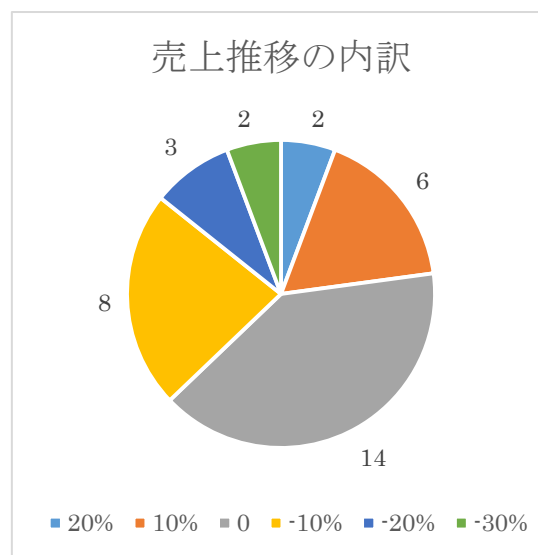
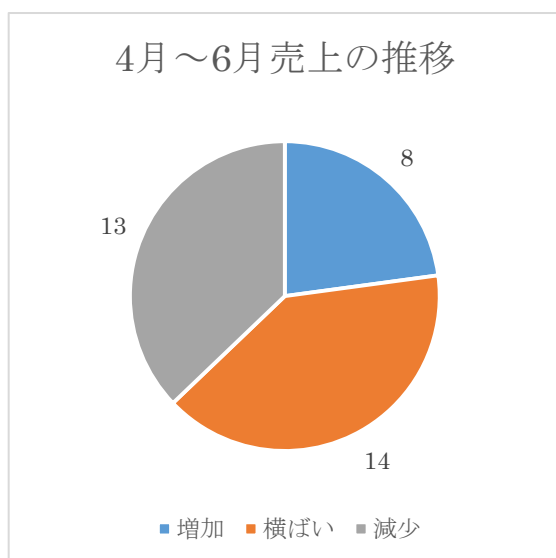
飲食業	2事業者
卸	0事業者
建設	6事業者
小売	9事業者
サービス	9事業者
製造	9事業者

- 回答者の営業形態：
法人 10社（株式会社 6社、有限会社 2件、合同会社 2社、）
個人事業 25事業者

2. 売上の概況

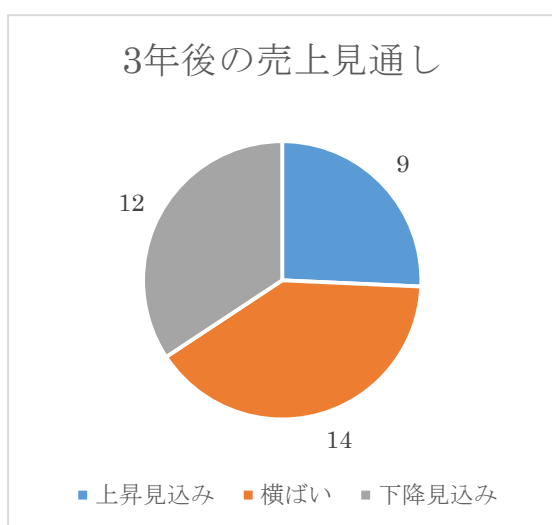
① 事業者の売上の推移

2015年4月～6月における売上の推移は下記のグラフの通りであり、増加・横ばいと答えた事業者の割合は62.8%であった。サービス業において増加・横ばいと答えた事業者が多かった反面、建設業・小売業において減少したと答えた事業者の割合が多い。



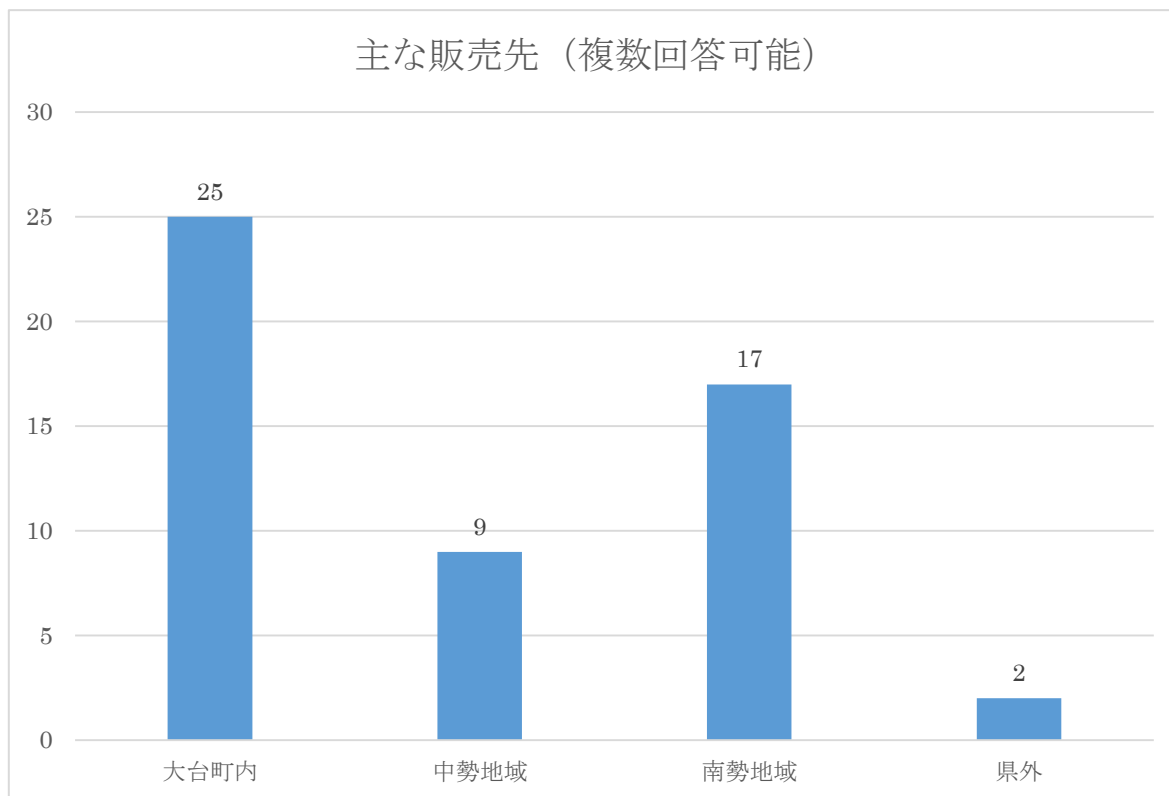
② 売上の見通し

2017年以降3年程度（2020年頃まで）の売上の見通しについては下記のグラフにもあるように65.7%の事業者が売上げ上昇の見込みもしくは横ばいと答えている。売上の見通しに関しては2.9%改善の傾向が見られる。



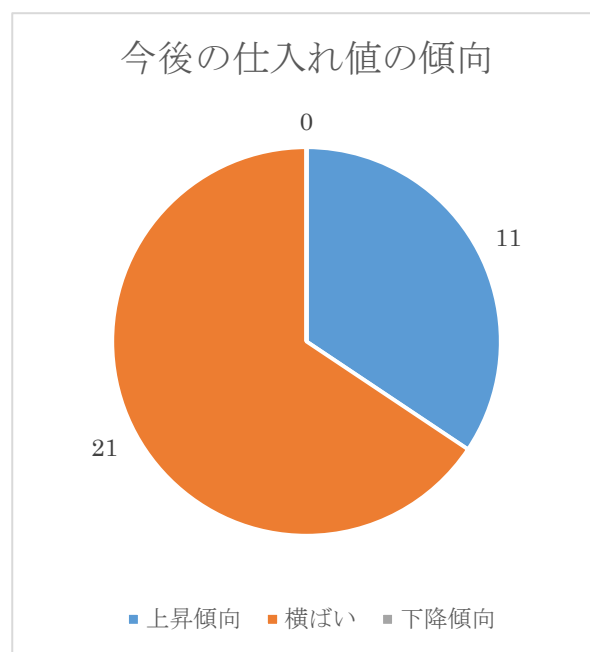
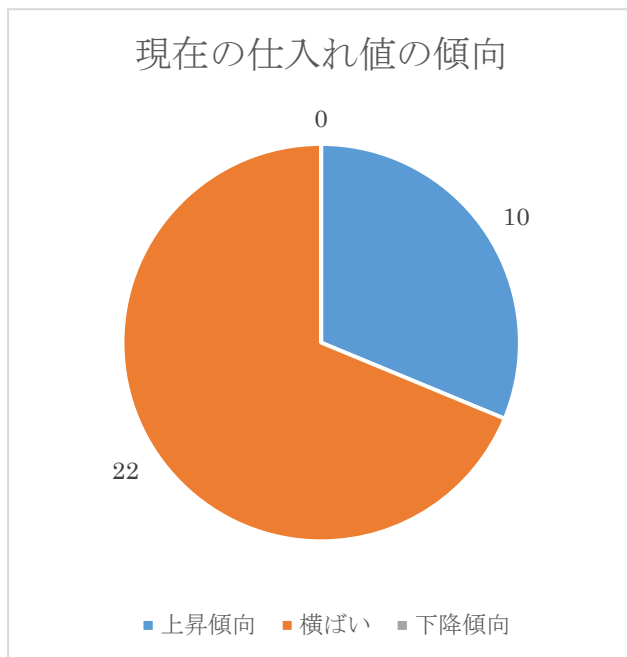
③ 販売先について

県内の販売先では、大台町内が最も多く71.4%をしめる。次に南勢地域が48.5%、中勢地域が25.7%であった。三重県外に販売している事業者は2事業者しかなく、当町内の事業者は、商圏の比較的狭い、地域需要志向型の事業者が多いと言える。



① 仕入・原材料単価の推移と見込

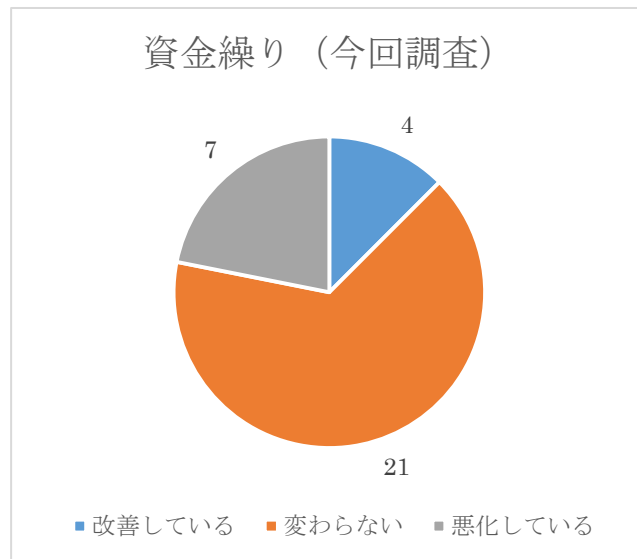
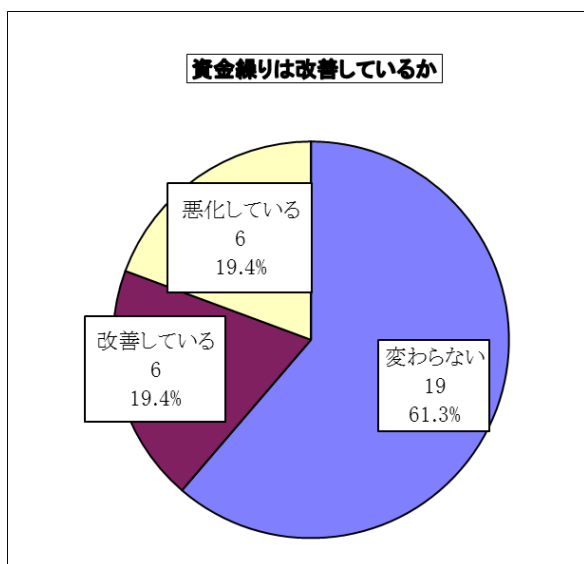
事業者の仕入・原材料単価の推移と見込について確認すると、上昇傾向と回答した事業者はあったが、下降傾向と回答した事業者はゼロであった。今後の見込についても上昇見込と回答した事業者が多い。将来的な原材料単価の上昇により採算性の悪化が懸念される。



3. 資金繰り

① 資金繰りの前回調査との関係性

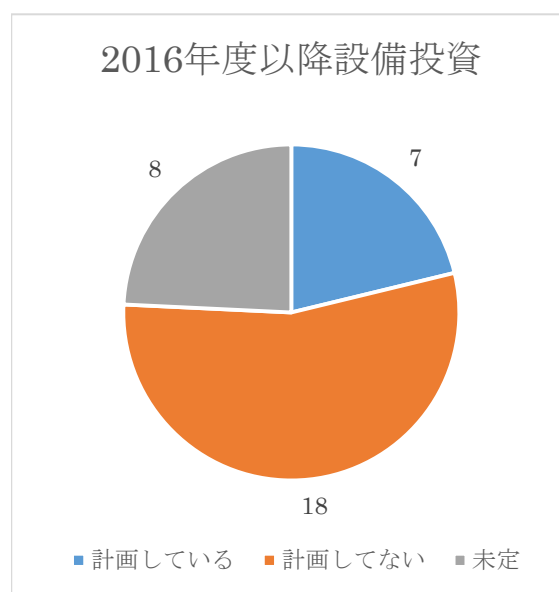
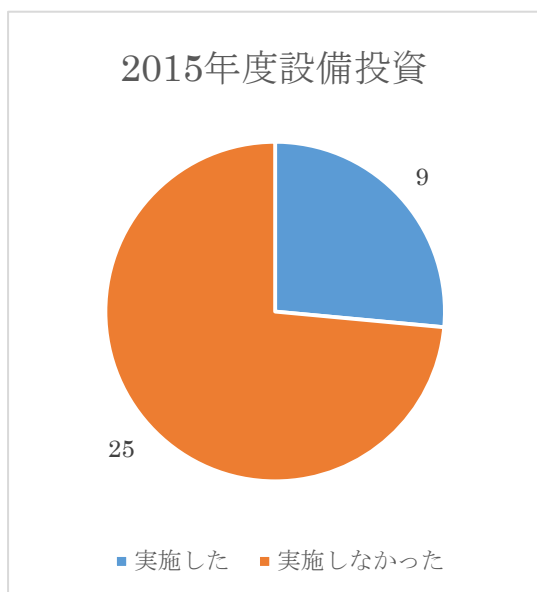
資金繰りについては、下表左側の2015年の調査結果より改善している割合が減少し、悪化している割合が増えている。



② 設備投資

2015年に設備投資を実施した事業者は25.7%であった。

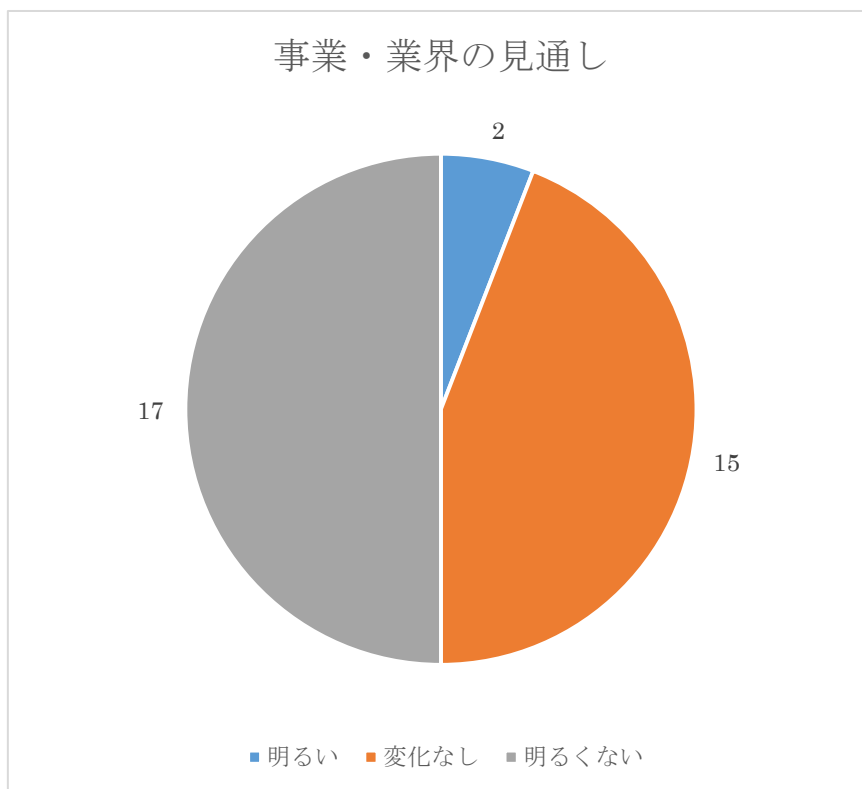
2016年の投資計画では、投資を計画している事業者の割合は2015年に実施したと回答した事業者の割合から減少する。



4. 事業見通しと課題

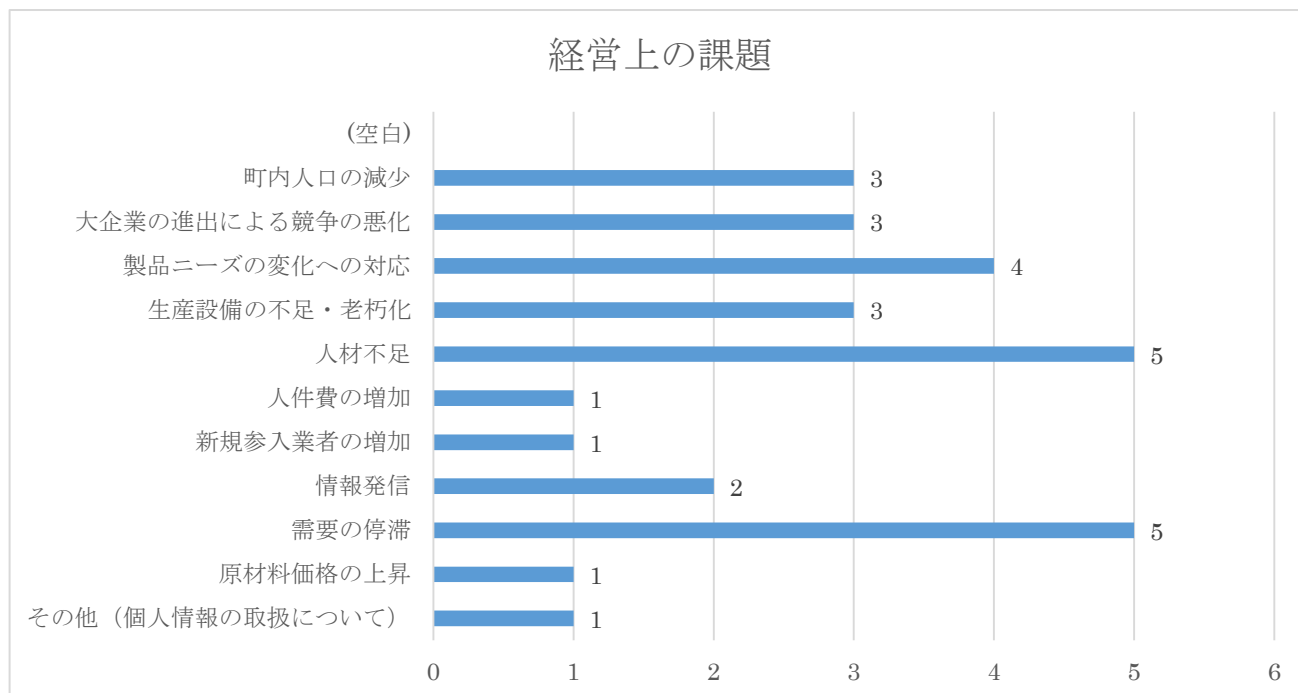
① 事業・業界の見通し

事業・業界の見通しにおいて「明るい」と回答した事業者は1割にも満たず、5割近くの事業者が、事業・業界の見通しが「明るくない」と回答している。事業者の売上減少、原材料の高騰、採算性の悪化などの見込が、事業自体の見通しを暗くさせていると考えられる。



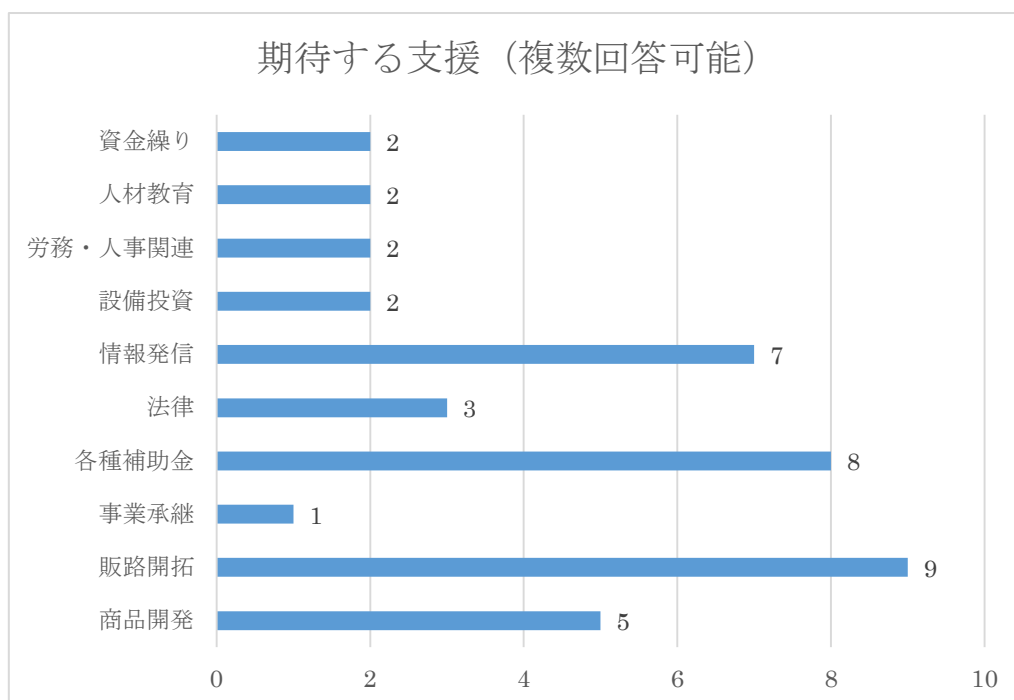
② 直面する課題

事業の見通しが明るくない中で、事業者が現在直面している課題を確認した。町内人口の減少を課題に掲げる事業者が最も多く、小売・飲食業などの事業者は町内の需要減少の影響を深刻にとらえている。また原材料価格の上昇を課題に挙げた事業者も多く、上昇分を販売価格に転嫁できていない事業者の課題が浮き彫りになった。



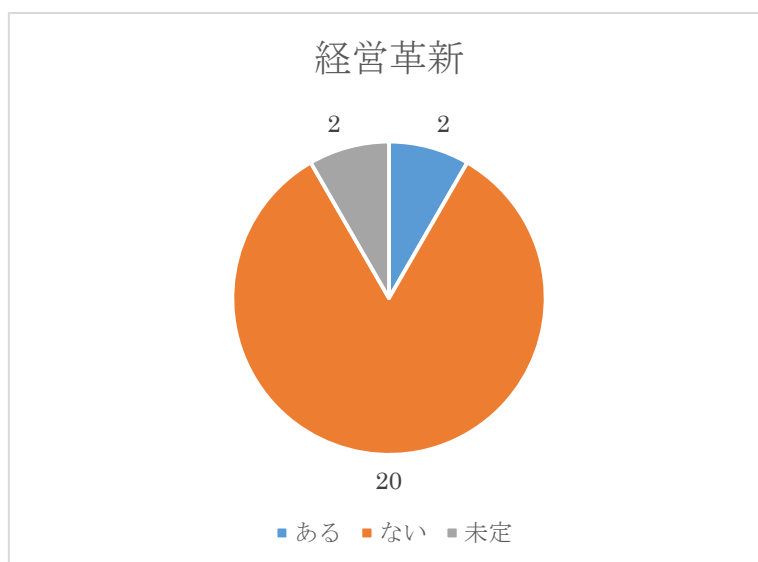
③ 課題解決に必要な支援

事業者が経営課題解決に必要と感じている支援内容について整理する。最も割合が高いのは、販路開拓支援である。続いて各種補助金について、情報発信についての割合が高かった。売上が中期的に減少する見込みであることもあり、町内の需要減少に危機感を募らせ、新たな販路開拓が必要を感じている事業者が多いと考えられる。



5. 第二創業について

既存事業の停滞、先行きの不透明さの打開策の一つである第二創業について事業者の意識を調査した。第二創業について計画があるとした事業者は 8.3% で一部の事業者だけであった。未定と回答している、事業者が 8.3% あり既存事業の停滞に対して何等かの手を打たなければいけないという認識がありながらも、事業転換についてはハードルが高く逡巡している事業者が多いと考えられる。



6. 事業承継について

事業者の事業承継に対する意識について調査を行った。後継者が決定していると回答した事業者が 38.2% であり、未定と答えている事業者は決定している事業者よりやや多い。事業承継をしないと回答した事業者にその理由を確認すると事業に将来性がないという答えが多く 4 事業者であった。

